

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

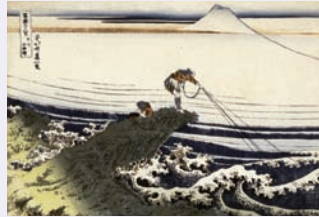
シンボル展「さわれる富嶽三十六景」

特殊な技術を使って、浮世絵の線描を立体的にあらわした「さわれる富嶽三十六景」。葛飾北斎の世界的な傑作を、目で見るだけでなく、手でさわって鑑賞できるようになりました。今回は、浮世絵版画の「富嶽三十六景」も一緒に展示しますので、両作品を比較しながら、北斎の大作を‘見て’‘さわって’お楽しみください。

開催期間／2月7日(土)～3月9日(月)
観覧料／一般510円、大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



「さわれる富嶽三十六景 甲州石班澤」
(山梨県立博物館蔵)



葛飾北斎筆「富嶽三十六景 甲州石班澤」
(山梨県立博物館蔵)

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151 FAX 055-240-0168

あそびの広場お年玉企画

- 第1弾「リアルバルーン実物大恐竜と写真を撮ろう」
- 第2弾「驚異のリアル恐竜体験ライブショー DINO-A-LIVE」

恐竜をテーマに、2つのお年玉企画を開催！第1弾では、実物大のバルーン恐竜(トリケラトプス/全長7.5メートル)が登場。恐竜の途方もない大きさを目の前で体感でき、写真撮影も楽しめます。第2弾では、リアルに動き回る恐竜の体験ライブショーが山梨初上陸。まるで生きているような恐竜が、縦横無尽に歩き、吠え、暴れ、時に噛みついてきます！

開催期間／第1弾：1月4日(日)～9日(金)9:30～ ※撮影用カメラを持参してください。
第2弾：1月10日(土)～12日(月・祝)
①10:30～ ②12:30～ ③14:30～ ④15:30～
※各ショー300名程度、混雑時は整理券配布。
※④はグリーティングのみ。自由観覧。
観覧料／入館料だけでご覧になれます。



バルーン恐竜
「トリケラトプス」
©ON-ART



リアル恐竜「アロサウルス」体験ライブショー
©ON-ART

県立考古博物館

甲府市下曽根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

富士山ミニ展示

富士山は信仰の対象として、古代から人々の心に深く関わってきた神聖な山です。そんな富士山への信仰や人々の思いを、周辺遺跡や出土品などの歴史資料から探ります。2月22日には、富士山のお札刷り体験もあります。



河口湖と冠雪の富士



2合目で発掘された「まき銭」

開催期間／2月14日(土)～3月1日(日)
観覧料／無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

富士山・火山写真展

火山としての富士山を学びませんか？現在の美しい富士山の姿は、何度となく繰り返された噴火で形作られました。富士山を火山という側面から捉えた写真やパネルを展示し噴火の歴史や火山防災について考えます。



富士山の南東斜面にある宝永火口

開催期間／1月15日(木)～2月24日(火) ※月曜日は開催していません。
観覧料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

山梨の魅力 ～風景と人々の営み～

富士山をはじめ、昇仙峡、南アルプスの山々、富士川といった山梨の名所風景と、豊かな自然に囲まれた土地で生き生きと暮らす人々の様子を描いた絵画を紹介することで郷土山梨の魅力をあらためて見直します。当館の所蔵品を中心に、山梨にゆかりのある作品を所蔵する美術館や博物館、さらには個人からも借用して、常設展示では実現しない広範囲で充実した展示を行います。

開催期間／1月31日(土)～3月1日(日)
観覧料／一般510円、大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



河内雅溪(昇仙峡之図)制作年不詳 個人蔵(山梨県立美術館寄託)

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

第4回 水晶彫刻若手作品展

山梨県の伝統的工芸品「甲州水晶貴石細工」。その技を引き継ぎ次世代を担う職人たちが、若い発想を加え丹精を込めて作り上げた作品を展示します。ジュエリーをはじめ、皿や数珠など、伝統をベースに新たな感性が吹き込まれた造形美をぜひご覧ください。

開催期間／1月17日(土)～2月16日(月)
観覧料／無料
無料ワークショップ／1月17日(土)、18日(日)
24日(土)、25日(日)
※各日 10:30～17:00
※ストラップもしくは、プレスレット作りが体験できます。



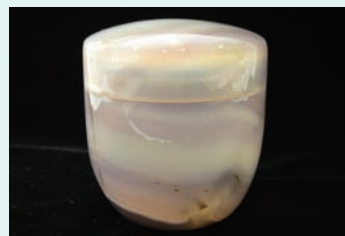
高瀬 宏 (パズル)



大寄智彦 (SAKURA)



鵜飼翔平 (ナイフ)



河野すゝむ (中薬)

県立文学館

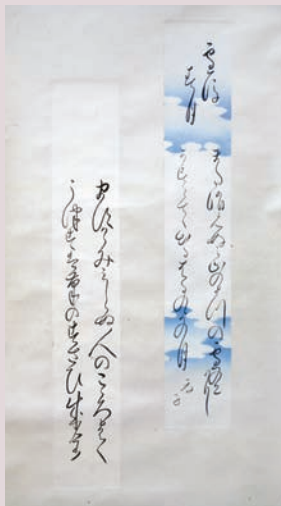
甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

新収蔵品展 ペンをもつ、筆をとる

樋口一葉・飯田蛇笏・尾崎一雄・
山本周五郎・武田泰淳ほか

大月市出身の小説家 山本周五郎が原稿用紙6枚にわたり胸の内をつづった手紙や、晩年、富士山麓の別荘で過ごした小説家 武田泰淳の原稿、笛吹市の俳人 飯田蛇笏・龍太が自作の句を揮毫した書など、新たに購入または寄贈や寄託を受けた資料約80点を展示します。書き手の個性が伝わる直筆資料の魅力が堪能できる絶好の機会です。

開催日／1月24日(土)～3月22日(日)
観覧料／無料



樋口一葉「まだ消えぬみ山のまつゆきの雪の上にかすみて出るはるの月」他 短冊軸装



飯田蛇笏「乳牛に無花果熟るゝ日影哉」軸装